

そ お

曾於 議会だより

2012. 5
No.28



平成24年度 一般会計予算

2

市政を問う

7

委員会報告

16

しゃら福祉会 楽習クラブ (学童)

予算
万円

の減

付帯決議を議決

中ず冷凍施設整備事業に
工事費2億2777万円



(株)メセナ食彩センター敷地内

3月定例会は、2月24日開会し、3月29日に閉会しました。
定例会では、平成24年度当初予算や平成23年度予算の補正に関するもの、曾於市乳幼児医療費助成金支給条例の一部を改正する条例の制定など29件、平成24年度一般会計予算に対する付帯決議などを審議・議決しました。

平成24年度一般会計

215億6,000

前年対比 ▲1.8%(3億8,700万円)

パークゴルフ場・フラワーパーク等整備事業予算に対し、

当初予算

(賛成多数 可決)

本年度の一般会計当初予算は、平成23年度当初予算に対して、3億8700万円、1.8%減の215億6千万円です。

歳入で市税は、固定資産税の評価替えによる減収見込みにより3.2%減の27億5003万円。地方交付税(普通交付税)は、0.2%増の84億2千万円。国庫支出金は、子ども手当国庫負担金等の減により4.6%減の22億5136万7千円。

県支出金は、食肉等流通体制整備事業費補助金等の減により、20・8%減の14億3492万1千円を計上。繰入金は、財政調整

基金やふるさと開発基金繰入金等により、47・1%増の7億9238万2千円を計上。

市債については、光ファイバー網整備事業やパークゴルフ場・フラワーパーク等整備事業、ゆず冷凍施設整備事業等が増となり、消防センター整備事業や農産加工研修センター整備事業等の減により、0.1%減の39億4910万円が主なものです。

歳出では、人件費が職員数の減により3.7%減の32億3973万5千円、物件費は1.2%減の25億3810万3千円。維持補修費は、6.9%増の2億2623万1千円、扶助費は、1.5%減の34億8559万2千円、補助費等は、3.4%減

の23億2200万5千円、公債費は、1.3%減の29億9043万2千円、積立金は、まちづくり基金積立金等の減により、37・9%減の3億9907万8千円、繰出金は、0.6%増の17億1564万2千円。また、

普通建設事業費は、健康増進整備事業、ゆず冷凍施設整備事業、パークゴルフ場・フラワーパーク等整備事業、市道整備事業、及び財部中学校校舎改築事業等により3.3%増の45億8301万円となりました。

曾於市健康増進施設 完成予想パース図



(仮称) 健康増進施設完成予想パース図

子ども医療費助成事業 8,685万8千円

中学校終了までの子ども達約4,300人が対象となります。



医療費無料で子育て安心

高齢者見守り対策事業 1,075万8千円

声かけや安否確認等を行うことにより
在宅福祉の促進を図ります。



お元気ですか

市道新設改良工事 7,500万円

計画的に市道の改良を進めています。



河原・飛佐線（大隅町）

クローズアップ 新年度予算

ゆず冷凍施設整備事業 2億2,770万1千円

搾汁液 300t 冷凍保存できる施設をつくります。



ゆず搾汁センターでの選果風景

桜並木ライトアップ工事 1,800万円

来年から夜桜を楽しく観賞できます。



おおすみ弥五郎伝説の里全景

平成24年度一般会計 215億6,000万円はこのように使われます

☆市民サービスのために	28億9,692万6千円	☆生きがいと健康のために	77億8,505万1千円
議会費	2億1,867万2千円	民生費	62億9,558万0千円
総務費	26億7,825万4千円	衛生費	14億8,947万1千円
☆豊かな暮らしのために	23億8,749万6千円	☆くらしと安全のために	31億8,104万8千円
労働費	1,128万2千円	土木費	24億 675万6千円
農林水産業費	22億 83万2千円	消防費	7億4,463万0千円
商工費	1億7,538万2千円	災害復旧費	2,966万2千円
☆文化と教養のために	22億8,904万7千円	☆返済のために(公債費)	29億9,043万2千円
☆備えのために(予備費)	3,000万0千円		

会計名		24年度(当初予算)	23年度(当初予算)	前年対比	被保険者数
一 般 会 計		215億6,000万円	219億4,700万円	▲1.8%	
特 別 会 計	国民健康保険	63億6,271万6千円	60億6,520万円	4.9%	13,247人
	後期高齢者医療	5億424万2千円	4億7,539万8千円	6.1%	8,608人
	介護保険	47億3,128万1千円	46億3,378万8千円	2.1%	13,640人
	公共下水道事業	3億1,810万7千円	3億9,702万8千円	▲19.9%	
	生活排水処理事業	1億638万8千円	8,451万1千円	25.9%	

特別会計
 ☆平成24年度曾於市国民健康保険特別会計予算(賛成多数 可決)
 世帯数7675世帯
 被保険者数1万3247人
 予算63億6271万6千円
 一般会計から8千万円の繰入を行う。
 国保会計の財政の厳しい理由は、国からの補助金のカットがあるか

水道事業会計

項目	24年度	23年度	前年対比
収益的収入	5億5,535万6千円	5億4,590万3千円	1.7%
収益的支出	4億9,195万3千円	5億1,151万8千円	▲3.8%
資本的収入	7,500万円	1億1,800万円	▲36.4%
資本的支出	2億9,863万1千円	3億9,280万9千円	▲24%

★平成24年度曾於市公共下水道事業特別会計予算(賛成多数 可決)
 予算3億1810万7千円
 4月より介護保険料の値上げがされ介護を受けたくても受けられない人が出てくる。心配があるとの意見あり。

★平成24年度曾於市後期高齢者医療特別会計予算(賛成多数 可決)
 被保険者数8608人
 75歳以上の市民(65歳以上の寝たきりを含む)高齢者を75歳以上に区別するべきでないとの意見あり。
 予算5億424万2千円(6.1%増)

★平成24年度曾於市生活
排水処理事業特別会計
予算

(全会一致 可決)

予算1億638万8千
円、財部地域を中心と
する合併処理浄化槽予
算であります。

★平成24年度曾於市水道
事業会計補正予算

(賛成多数 可決)

給水戸数1万4323戸
年間給水量410万6
979m³
水道事業収益5億55
35万1千円
建設改良費2億173
8万1千円
末吉地区の八反地区の
ボーリング選定に問題
があるのではないかと
の意見あり。

【 条 例 】

曾於市乳幼児医療費助成
金支給条例の一部を改正
する条例の制定について
(全会一致 可決)

★市民のアンケートで、
フラワーパーク公園の
フラワーパーク公園の
賛否を決める陳情書

(賛成少数 不採択)

提出者 曾於市大隅町
岩川1451番地
谷川善明氏
他2名

議員は市民に選ばれ
た代表であるから議会
制民主主義において議
員自らの責任と判断で
決定すべきという意見
が多数であった。

議案第23号 平成24年度曾於市一般会計予算に対する付帯決議

市当局は、平成23年度においてパークゴルフ場・フラワーパーク等整備事業として、設計技術提案（プロポーザル）による公募を行い、プロポーザル審査会を経て、候補地を2地区から末吉町胡摩地区に特定され、平成24年度曾於市一般会計予算の中にパークゴルフ場・フラワーパーク等整備事業費として2億5,812万5千円の予算措置がされております。

議会としても、関連する陳情が提出されるなど、市民の関心が高く、重要な案件であると位置付けられることから、パークゴルフ場・フラワーパーク整備事業調査特別委員会を設置し、慎重に審査並びに調査を継続中であります。

特別委員会の審査においては、多くの意見の中に、環境の問題、市民への説明不足といった重要と思われる課題が幾つか出されたところであります。

これらの問題について、特に徹底した環境調査が必要と思われ、また、現在、パークゴルフ場・フラワーパーク整備事業調査特別委員会においても調査継続中であり、委員会としての結論を得ていないことから、下記の事項を決議するものであります。

記

1. 議案第23号 平成24年度曾於市一般会計予算について

第2款総務費 第1項総務管理費 第5目企画費における「パークゴルフ場・フラワーパーク等整備事業」事業費2億5,812万5千円については、パークゴルフ場・フラワーパーク整備事業調査特別委員会が結論を得るまでの間、予算の執行を凍結すること。

以上、決議する。

平成24年3月29日
鹿児島県曾於市議会

一般質問
9議員登壇

市政を問う

フラワーパークは中止を

市長／白紙に戻す考えはない



徳峰 一成 議員

徳峰議員 利用、収支計画がおおざっぱではないか。

4点を質問したい。フラワー公園は、市外の利用者を8万人と見込んでいる。これは過大な見込み数ではないか。

池田市長 今後見直しをしたい。

問 パークゴルフ場は、年間の利用者を3万7500人と見込んでいる。しかし市内、市外の利用者を分けていないなどおおざっぱではないか。

市長 次回の議会までに内訳を示したい。

問 グラウンドゴルフについて。

市外の利用者は期待できない。一方、市内の利用者をわずか6千人と見込んでいる。このために何億円も金をかけて建設するのか。

市長 6千人より多くなるのではないか。

問 グラウンドゴルフの年間の収入120万円、支出129万円は、数字が一ケタ小さい。

市長 グラウンドゴルフの支出が少ないのはパークゴルフの支出で計算に入れたことによる。

問 どんぶり計算とは納得できない。

市長 今後見直しをしたい。

問 次に、環境問題を考えず建設予定地を決めた点について。

胡摩地区は、昔から畜産が集中している。なぜ、悪臭の調査をしなかったのか。

市長 2回ほど行っただが、体感では問題なかった。

問 ハエについてはどうか。

市長 ハエが多い場所ではないと思う。

問 調査をされたうえで答弁か。

市長 今後、調査を行いたい。

問 次に、排水対策について。

答弁や事業計画などからして、対策が十分ではないか。

市長 今後しっかりした事業計画を出したい。

問 以上の質疑で利用、収支計画、環境や排水対策が不十分であることが明らかとなった。この為、今回提案されたフラワーパーク建設の予算は、白紙に戻すよう要求したい。

市長 白紙に戻す考えはない。

財部温泉センター 従業員の賞与支給は

問 平成22年度の賞与を従業員に支給しなかったのは、市に落ち度があったと答弁があった。

市長 今後は、何らかの形ですべての従業員に賞与を支給すべきだ。

建設予定地から1.5km圏内にある畜産関連農場の現状 (市長答弁より)

農場等	箇所	頭羽数
ブロイラー	5	108,000
鶏 卵	2	640,000
肥 育 牛	1	2,000
豚	9	5,000
畜産企業	1	6,000

有機センター脱臭棟の 倒壊の原因は

市長／現在調査中である



今鶴 治信 議員

今鶴議員 曾於市有機センター脱臭棟の屋根が倒壊したが原因は何か。



倒壊した有機センターの脱臭棟

池田市長 当時請け負った設計及び施行会社に倒壊の原因について究明を求めたところ、脱臭棟内の木材部材が湿潤状態で部材の強度が低下し、破断したため、倒壊したとの報告があった。

問 今後改修はどのように行うのか。

市長 倒壊した脱臭棟は、3月までに解体撤去し平成24年度予算により改築の予定である。

問 有機センターの管理については、市職員は常駐させないと聞いたが、これからどのように運営・管理していくのか。

市長 行革に伴う職員の定数削減に伴い、平成24年度から有機センターの管理運営を外部委託する予定である。管理運営の方法としては、現在の作業員全員を引き続き雇用することとし、市職員に変わる2名の職員を新たに常駐させて、曾於市の直営として引き続き運営を行っていく。



岩川高校



財部高校



末吉高校

再編の渦中にある市内県立高校

公立高校

再編について

問 曾於市内に3つの公立高校があるが、今後とも存続できるか。

市長 曾於市では、市教育活性化対策委員会高校部会で意見を出してもらい、今まで5回の部会を開催した。

この部会で、まず第一段階として、末吉・財部を再編統合し、岩

川高校は、ここ2、3年自助努力を發揮することで意見をまとめ、「大隅地域の公立高校の在り方検討委員会」に報告したところである。

例えば、地元高校に在籍する生徒のバイク免許取得の助成や、バス通学の定期券の助成など。

問 高校の授業料無料化に伴い、曾於市の特別奨学金制度が廃止されたが、これに代わる地元高校に入学する生徒への支援または、高校振興対策は新たに考えているか。

教育長 具体的な対策はまだ考えていないが、ふれあいバスなどの利用を含めて、何らかの手立てを考えていかなければならないと思っている。

安全安心なまちづくりは

市長／防災組織の充実を図る



迫 杉雄 議員

迫議員 地域住民が
深川駐在所の存続を要
望し、県警察本部長に
1442名の署名を添
えて、陳情がなされた。
今後、犯罪防止や抑
止力の観点から市長に
おいては、県警の再編
計画にどのような対応



気をつけていってらっしゃい（柳迫交差点）

が考えられるか。

池田市長 県に提出す
る「存続を望む陳情
書」を拝見し話を伺い、
地域の考えを十分理解
したところである。今
年12月まで結論が延ば
され、今後地域の意見
を取り入れて再度検討
されると思う。

問 自主防災組織につ
いての対応はどうであ
るか、組織率の向上と
今後の対応はどうであ
るか。

市長 地域住民の連帯
により、防災活動が消
防行政に取り入れられ、
自主防災力の向上を目
指している。

今まで自治会を単位

とした組織率は42・9
%であったが今回、16
の校区公民館が設立し
て、組織率が66・7%
となり組織活動を維持
するための施策等を検
討する。

問 犯罪発生に対して
は連携やコミュニケー
ションが必要であるが、
今後の取り組みについ
てどうか。

また、川内団地でのタ
イヤパンク事件のその後
の対応はどうであるか。

市長 自主防犯に地域
パトロール隊や見守り
隊の29団体が加入し、
日々活動をされている
ので、連携をとりなが
ら、協力をいただき、
取り組んでいく。

川内団地の駐車場に
は、平成23年度で5基、
平成24年度で10基の防
犯灯を設置する。
防犯カメラの設置は
現在検討していない。

メセナ温泉の 宿泊施設の増設を

問 メセナ温泉の宿泊
施設の増設の必要性に
ついてどうであるか。

市長 増設について必
要性は感じている。
今のところ具体的な
検討はしていないが、
今後検討したいと考え
ている。

問 温泉の利用増はも
とより、観光の観点か
ら宿泊も県内外に発信
して、スポーツ文化等
団体の合宿誘致に努力
すべきではないか。

市長 県などを通じて
大学等のスポーツ合宿
の案内はあるが、宿泊
施設が収容しきれない。
色々な観点から対応し
ていきたい。



安心安全の為に防犯灯

フラワーパーク公園づくりは中止を

市長／議会が否決したときに考える



五位塚 剛 議員

五位塚議員 胡摩地区について市長はどうか考えているか。

池田市長 市の中心地域であり、フラットで高齢者等に利用しやすい。また、山林であり用地費が安価である。

問 市民の声はますます建設中止の声が広がっている。中止すべきではないか。

市長 建設中止の声があることも承知している。推進の声も多くあ

り、地域活性化につながるので中止の考えはない。

問 相続ができてない地権者と筆数はいくつか。

市長 個人で17名の32筆、共有名義で2筆あり合計34筆である。

問 この建設場所から1.5km以内に18の農業施設があり、ニオイ、ハエなど問題はないか。

市長 二度ほど足を運んだが、ニオイは感じなかった。

問 私はこの下流で田を作っていたが、ニオイ、ハエ、便所バチなどで、とても観光客を

呼べるところではない。どうか考えるか。

市長 ニオイの問題は調査する。

問 この事業はたいへんな赤字が予想される。どう責任をとるのか。

市長 合併記念としてこのまま進めていきたい。

問 議会が否決したら尊重するか。

市長 議会が最終判断した場合は、その時に考える。

ハム・ウインナーなど手作り加工所を

問 ナンチク等と協力しあって観光や市民の手作り加工所の建設はできないか。

市長 加工所の建設はできないが、技術的指導の協力が得られれば既存施設の活用を考えたい。

問 畜産の市として、子どもたちにハムやウインナーの手作り加工の体験をさせることは大切なことではないか。

また、観光客を呼ぶためにも必要ではないか。

市長 畜産の加工を含めて農産物の加工を高めていくことは大切である。県が大隅半島の農産物加工体験施設の考えもあるので、県と一体となって前向きに検討したい。



ピカピカの調理場（大隅農産加工センター）

市長 88件の937万円の補助を見込んでいる。

問 この事業の経済効果は大きいと考えるがどうか。

市長 事業効果は1億5千万円程で大きいと考える。

問 給湯器やサッシ取替など、大工工事や労務費が伴う工事についても支援を広げるべきではないか。

市長 労務費が伴うものは考えていく。



胡摩地区の予定地で説明中

住宅リフォーム支援の強化を

問 平成23年度の住宅リフォームの実績はいくらか。

パークゴルフ場・フラワーパーク計画の経済効果は

市長／完成までに13億円の効果、雇用も期待できる。



土屋 健一 議員

土屋議員 パークゴルフ場、フラワーパーク計画において曾於市内への経済効果は。



人気のパークゴルフ

池田市長 用地取得、工事全般で約13億円の経済効果を見込んでいる。

問 雇用促進はできるのか。

交流人口をどれくらい予測しているのか。市の特産品の販売効果へ結びつけられるのか。

市長 雇用も創出できる。完成後は年間10数万人の交流人口を見込んでおり、5千800万円の経済

効果がある。

特に管理作業面でシルーバー人材センターの活用は増え、雇用につながる。特産品のPRや販売にも結びつけたい。

問 胡摩地区は交通の利便性、景観、そして畜産事業所との共存等適地と判断しているのか。

市長 審査会の決定は尊重したい。

市の中央に位置し、交通面でも便利であり、地形も割合平坦である。悪臭やハエも心配されるので、環境調査を民間の機関へ委ねて結果をみて判断したい。

児童数の減少にどう対処されるか

問 市内児童生徒の学力は全国・県でのレベルにあるのか。学力向上対策は取っているのか。成果は上がっているのか。

植村教育長 小学校は全国レベルにあるが、中学校は全国レベルに及ばない。

小学校の算数は全国より上回るが、国語は下回っている。中学校は数学も全国には及ばない。

県が実施する基礎・基本定着度調査の最新結果では、小学五年生は全教科で県に及ばず、

中学一年生も同様である。中学二年生は数学と理科で上回るが、他の教科でやや及ばないところである。

平成23年度から「教師力向上講座」を実施している。学力向上対策協議会も設置しているので、目的を達成したい。

国・県レベルに達しない面もあるが、定着度調査の度に前回調査を上回る結果が出ている。全教科の平均ではすべての学年で向上している。

今後、学力向上と生徒指導を一体的に取り組み「定着する授業」を目指す。

教育長 頑張りたい。



電子黒板による授業

茶業振興は

市長／関係機関と一体となり取り組む



渡辺 利治 議員

問 茶業振興貸付基金の目的と活用方法は。

市長 合併前は末吉・財部で、合併により大隅も活用できる。

新植、改植にかかる経費を貸付け初期投資の負担軽減を図る。

問 早急な取り入れを望むが解決策は。

市長 平成24年度中に一般会計補正も考えている。

問 県茶業大会（曾於

市会場）の本市の取り組みは。

市長 銘茶研究会も設立され、品評会対策費として737万円を当初予算化し、大成功に向け取り組む。

高齢者見守り対策事業について

問 高齢化社会の実態をどうみるか。

市長 曾於市の高齢化率は現在34%で、上昇する傾向である。

地域での見守りの必要な高齢者が、さらに増えると予想される。

問 見守りの現状はどうか。

市長 市内26ヶ所の地区社会福祉協議会を核に、在宅福祉アドバイザーによる見守り活動を実践しているが、考え方や取り組みに差がある。



曾於市地域福祉ネットワーク会議

問 役員引き受け手のない現状で、今後どのような対策を講じて、安心安全な高齢化社会を築くのか。

ようにする。また、市の訪問専門員と併せて高齢者が安心して暮らせる地域づくりを目指す。

市長 各自治会長、班長、またその奥様方へのアドバイザー活動は難しいと考え、毎月の見守り結果の報告に対する報酬を予算化し、複数年、務めてもらう

渡辺議員

畑かん地域でのお茶の節水型散水器具の普及と導入については。

池田市長 従来型より6割の節水効果があり、農家や関係機関と一体となり検討する。



稼働中の防霜スプリンクラー

メセナ温泉の現在の喫煙場所は適当か

市長／場所の移動、分煙対策を早急に行う



原田 賢一郎 議員

原田議員 メセナ温泉の喫煙場所は現在の場所が適当か。



メセナ温泉センター内喫煙所

池田市長 今の場所は適当でない。

問 今までに喫煙場所に対する苦情はなかったのか。

市長 苦情はあった。

問 喫煙場所を変えてくれとの声があるが、なぜ改善できないのか。

市長 場所の移動、分煙対策を早急に行う。

小・中学校におけるセキユリティーは

原田議員 市内小・中学校におけるセキユリティーの実態は。

植村教育長 市内小・中学校併せて26校ある

が、小学校は、岩川小、末吉小、財部小の3校。中学校は、大隅中、末吉中の2校完備されていて、現在建設中の財部中も設置の計画である。今のところ市内6校のみである。

問 セキユリティー対策を強化すべきではないか。

教育長 大きな効果を発揮するので、前向きに検討する。

粗大ゴミ処理の改善を

問 粗大ゴミ処理の改善策を。

市長 合併して大隅と財部の両一般廃棄物最終処分場が閉鎖され、粗大ゴミ処理において、特に高齢者や車のない方が不自由をきたしているが、両町における実態は。

市長 施設の延命化を図るため、大隅と財部の処分場への搬入は行っていない。末吉のクリーンセンターへのみの搬入である。

問 大隅、財部、両町への粗大ゴミ回収の手立てを講ずるべきではないか。

市長 市内全域的に改善すべきなので、プロジェクトチームをつくり、大崎町の事例に近づけるような方法がいいのか具体的な調査を行い検討する。



収集された粗大ゴミ（曾於市クリーンセンター）

災害対策は万全か（東日本大震災から1年を迎えて）

市長／市地域防災計画に基づいて行う



山下 諭 議員

山下議員 風雨の自然災害は、時系列的にまた、ピンポイント的に予測があるので予防できるとは、地震はできない。現時点での対応を問う。公共建造物対策は。

池田市長 学校施設で49棟の耐震調査を実施した。うち27棟が補強改築の必要がある。平成27年度まで実施の計画。社会教育施設の公民館、文化センター、体育館で基準法改正前の施設が11あるので検討する。

市営・市有住宅では、1166戸中新基準で建設されたものが762戸、他は今後耐震診断を実施する。橋梁は、市道と農道を合わせて2226ある。基準改正前架設の

市営・市有住宅では、1166戸中新基準で建設されたものが762戸、他は今後耐震診断を実施する。橋梁は、市道と農道を合わせて2226ある。基準改正前架設の

190の橋は、調査を検討する。

問 洪水時に冠水が予想されるところは。

市長 県水防計画では、末吉柿木地区50戸、財部中谷地区45戸、堤地区125戸、南・市之坂地区200戸を予想しており、大隅地区はない。

問 水道は大丈夫か。

水道は大丈夫か。

市長 平成17年水道事業の耐震基準が示され、それ以後に建設した、下窪水源地、同配水池、八反水源地、高松配水池、城山水源地は耐震化されている。それ以前に建設した配水池19ヶ所、浄水場16ヶ所は診断して整備する必要がある。送配水管は延長が長いので、基準に該当するように布設替工事時に実施しているが、水道財政の状況を見ながら行う。

問 ダム決壊のおそれは。

市長 本市には中岳ダム、谷川内ダムがあるが、河川管理施設等構造令に基づいて施行されているので、気象庁発表の震度とは単純に比較できない。東日本大震災で安全性に直ちに影響を及ぼす被害報告はない。

毎月堤体の挙動観測を行い、万全の体制ではある。

問 避難場所の表示設置をすべきである。

市長 市が指定した避難場所施設は32ヶ所ある。表示板のないところは、設置する。



ドクターヘリ出動中

市長 消防署と運行会社で該地の面積、平坦地、障害物の有無、2方向の進入出路確保の基準で選定されている。市の意見は求められていない。

ドクターヘリの離着場は

問 平成23年12月26日から県のドクターヘリが運行されている。市内の離着陸場は24ヶ所（財部6、大隅6、末吉12）である。財部の南校区はないが。

市長 今後、県へ申し入れていく。

財部南地区は500戸を超える地域である。隣接して3ヶ所ある地域もある。市も意見を云うべきである。

曾於市の街づくりを どう評価するか

市長／均衡ある発展を目指す



大津 亮二 議員

大津議員 これまでの街づくりをどのように評価されているか。

池田市長 旧3町の特徴を生かし、均衡ある発展を念頭に各種事業に取り組んできた。



多くの人で賑わう そお市民祭

問 街づくり計画や総合振興計画で、見直すべき課題はないか。

市長 過疎化が進む中、自助・共助・公助による政策が重要かつ必要とされる時代になってきたと感じている。

課題として安心・安全な街づくり、健康な地域資源を生かした観光の振興・産業振興、市民参加の共生協働の

街づくりの推進、防災対策や危機管理等があげられる。

問 事業評価をするのには政策評価制度を取り入れる考えはないか。

市長 早い機会にやらないといけない段階であると考えている。

問 地域ごとに特徴あるエリアを定めた街づくりは考えられないか。

市長 今までは事業平準化のために取り組んできた。

今後、地域に根付いたものを重視して取り組むことも、進めなければと思っている。

農業後継者新規就農者支援制度について

問 新規就農者支援補助金の実績と課題は。

市長 7年間で102名を認定し、支援金総額1億3774万円となっている。

問 2年間の支援の取り組みだが、3年目以降も支援が必要ではないか。

市長 平成24年度から国の制度も導入されると聞いており、現状のままではいさながら国の制度を見守りたい。

花房峡憩いの森の振興策について

問 現状をどのように分析されているか。

市長 20周年を迎え、記念事業で植樹を行い、6種類約130本の桜を植樹した。

過去3年間の平均利用者数は1万933人、宿泊者数2281人で当初からすると少なく

なっている。今後、国道側からよく見えないので、場内や斜面の照葉樹林を残しながら間伐を行う計画である。国道側に展望施設等も検討したい。

県道側から遊歩道・歩道橋を通り、徒歩で行けるが、案内板や道しるべがないので検討したい。
施設も老朽化しており、年次的に改修したい。



花房峡憩いの森 20周年記念植樹祭

委 員 会 報 告

- 総務常任委員会
- 文教厚生常任委員会
- 建設経済常任委員会
- 特別委員会

各常任委員会では、開会中の所管事務調査や3月定例会で付託になった議案・陳情について審査を行いました。

総務常任委員会

(吉村幸治委員長)

☆市税条例の一部改正

問 平成26年度から平成35年度までの市民税の均等割500円加算の使いみちは。

答 東日本大震災等の発生に伴い、平成23年度から平成27年度までの間に、曾於市が行う防災施策に対する借入金返済の財源になる。

☆平成24年度曾於市一般会計予算(所管分)

問 市有地等の売却を民間業者に仲介を委託するとあるが、どのように行うのか。

答 業者の範囲をどこまでにするか実施している自治体を参考にしながら、不動産業者にも納得が得られるような形で検討していきたい。



売り出し中の市有地



水質検査対象の河川

問 光ファイバー網が末吉・大隅の中心部の整備が終わり、平成24年度に財部の中心部を行う計画であるが、市内全域を整備するのはいつ頃か。

答 今のエリアから線を延長することは通信事業者では可能であるが、延長するエリアに利益を得られる顧客が多数いることが不可欠であることから、今の段階では市内全域を全て整備することはできない。

問 市民提案型共生・協働活動支援事業の概要は。

答 元気で生き生きとした生活ができる為の地域づくり活動を支援することを目的としている。

なお、既存の自治会の十五夜等は対象外と考えている。

新たな事業で対象経費の9割以内の20万円を上限として交付する。

問 主要河川の水質検査はどうなっているか。

答 市全体で21ヶ所の検査であったが、平成24年度から大隅町坂元地区を追加し、年に4回の検査を実施する。なお、ほとんど数値的に異常はないが、大腸菌群数について、数値的にやや多い所がある。

問 パークゴルフ場・フラワーパーク等整備事業の予算内容は。

答 実施設計業務委託料・用地取得費・立木伐採委託料などである。

(付帯決議)

パークゴルフ場・フラワーパーク等整備事業は、重要な案件と位置付け、特別委員会を設置して、現在、調査継続中であることからパークゴルフ場・フラワーパーク整備事業調査特別委員会が結論を得るまでの間、予算の執行を全額凍結すること。

文教厚生常任委員会

(大川内富男委員長)

☆平成24年度一般会計予算について(所管分)

問 高齢者見守り対策事業の内容は。

答 市内のひとり暮らしの高齢者の方々を対象として訪問専門員3名を本年度から配置し、週1回程度見守りを行う制度であり、在宅アドバイザーの報告も含めた情報は、住基、介護障害者情報と連携した地域福祉支援システムに入力し、災害時の支援や見守りに活用する。

問 子ども医療費助成事業の内容と対象者は。

答 これまでの小学校入学前の医療費の無料化から、24年度より中学校を卒業する年の3月31日までの医療費を無料にする制度であり、

対象者は今までより3千名増加し、約4300名弱となる。

問 健康福祉整備事業の内容は。

答 乳幼児から高齢者まで気軽に利用でき、主な施設として健康診断、検査、健康教室、乳幼児相談、各種福祉相談室等を備えた施設で、市民プール及びメセナ会館と連携した多目的施設である。

☆平成24年度国民健康保険特別会計予算(所管分)

問 国保会計の将来の見通しは。

答 これまでの状況で医療費が推移していけば、法定外繰入金を毎年8千万円行っても厳しい。



ひとり暮らしを守る緊急通報システム

問 医療費等分析業務委託事業とは。

答 新規事業としてレセプトのデータ分析を業者に委託し、これまでより詳しく分析しその結果を保健師による保健指導等に役立てる。

☆平成24年度介護保険特別会計予算(所管分)

問 緊急通報システム事業と利用状況は。

答 ひとり暮らしの高齢者宅で、家電商品の利用状況が、離れて暮らす家族等にわかるようメールで届けられるシステムである。現在175台利用されており、今年度は180台を見込んでいます。

主な意見 ひとり暮らしの高齢者の緊急時の対応策として積極的に推進するよう。

所管事務調査

○南之郷中学校

閉校に伴う記念行事として各種スポーツ大会等が実施され、本年度は末吉中との合同学習や地域の清掃活動への参加等、生徒の愛校心と統合への意識を高める取り組みがされていた。

○財部南中学校

閉校に当たって、閉校記念看板作成、閉校オリジナル曲作成、また地域においても記念講演会等計画され、学校・保護者・地域が一体となった取り組みが行われていた。

○財部北中学校

閉校に当たり、さらに多くの方に参加して頂くための各種スポーツ大会が実施され、「人のつながり」を意識した閉校記念行事が実施されていた。また卒業式と閉校式を同日開催とし、OB等多くの方々

の参加の工夫がなされていた。

○かのやグラウンドゴルフ場

平成19年に完成し、面積8.3ha、8コース64ホールの協会認定コースであり、防衛施設用移転跡地活用の全国モデルケースとして整備され、平成21年度より指定管理者制度を導入したとの説明であった。



視察中の文厚委員

建設経済常任委員会

(山下 諭委員長)

☆平成24年度曾於市一般 会計予算(所管分)

問 ゆず冷凍施設整備事業として、2億2770万1千円が計上されているが、今後のゆず生産の見通しは。

答 現在92ha、780トの生産量であるが、成園時は1800トで300トの果汁となる。搾汁施設の能力を超えることになるので、面積拡大は控えている。本事業で建屋面積643・7㎡の冷凍施設を造ることと、ブランド認証で販売面は有利になるので、一層の新製品創出に努める。

問 商工業後継者育成事業として、商工業新規就業者補助金288万円があるが内容は。



末吉商店街

問 本年より農林業と同様の補助を創設し、新規に商工業へ就業する者へ月額7万円、親の後を継ぐ後継者へは月額5万円を2年間支給する。

答 本年より農林業と同様の補助を創設し、新規に商工業へ就業する者へ月額7万円、親の後を継ぐ後継者へは月額5万円を2年間支給する。商工業の活性化が目的である。

問 地域振興住宅10戸を建設する計画であるが、本事業については地域振興住宅条例制定

答 本事業は平成20年より実施し、23年度までに50戸建設している。本年は、現時点で市内居住者を含め29件の申し込みがある。場所は、申込者の希望地もあるので未定である。※3月30日時点で48件となっている

時の趣旨に沿った建設場所を選定すべきである、との意見が強く出ている。

申し込み状況は。

☆平成24年度曾於市公 共下水道事業特別会 計予算

問 本年度の計画は。

答 本事業は、末吉町の市街地の認可区域200haを実施するものであるが、23年度末の供用面積は192haである。

問 枝線管梁築造工事2050m、単独枝線管梁420mを実施し、23年末の加入戸数は1084戸で新規加入戸数は供用区域内55戸を見込んでいる。

☆平成24年度曾於市水 道事業会計予算

問 本年度の事業は。

答 本年の取水設備改良及び配水設備改良工事、末吉地域において諏訪水源整備、野田地区水道管布設替工事外8件、財部地域で馬立水源電気設備工事外



地域振興住宅(穂地区)

5件、大隅地域で本町地区水道管布設替工事外1件を計画している。加入戸数で末吉地域110戸、財部地域62戸の増で大隅地域22戸の減、計150戸増を見込んでいる。

所管事務調査

○地域振興住宅建設事業
過疎化が進み地域社会の保持が困難な地域に市外から子どもがいる家族の転入を促進するため平成20年度から実施している事業であり、年間10戸の建築を目標としている。

意見 市外在住者へ広報周知を工夫し、積極的に行うべきである。中学校跡地が各所において地域の中心なので利用すべきである。

○曾於市ブランド確立
推進事業
曾於市の第1回ブランド商品として16件を認定。今後、市内の道の駅にブランドコーナーを設け流通販売の強化を図っていく。

意見 認証有効期間が2年はPRや定着度を考えると短いのでは。

パークゴルフ場・フラワーパーク整備事業調査特別委員会 (渡辺利治委員長)

特別委員会は、平成24年2月8日から3月12日までに、3回開催され、陳情2件の審査及び調査が行われました。

○第2回特別委員会

平成24年2月8日
執行部からパークゴルフ場・フラワーパーク等整備事業について概要説明

(プロポーザル審査委員会において建設場所を末吉町胡摩地区に特定との報告)
・陳情第4号「仮称パークゴルフ・フラワーパークに関する陳情書」の審査
・陳情第7号「市民のアンケートで、フラワーパーク公園建設の賛否を決める陳情書」の審査

○第3回特別委員会

平成24年2月17日
現地調査(胡摩地区)
・陳情第7号「市民のアンケートで、フラワーパーク公園建設の賛否を決める陳情書」の採決の結果
【賛成少数不採択】

賛成意見

パークゴルフ場・フラワーパーク等整備事業は、まちづくりの一環であります。計画をまず出して、市民に公開し、その事業が本当に必要なのかという議論をし、議会としても調査がなされた後でやるべきものである。議会としては、まだ審査中の段階である。また、市民の暮らしの状況をみたときに、農業をやっていけない、商売できない、年金

暮らしで生活できない、こんな状況が市民の中にいっぱいある時に、なぜ、今フラワーパーク公園建設なのかという声が渦巻いている。少なくとも市民の声(アンケート)を大事にするためには、陳情7号を採択すべきである。

反対意見

地方自治法、議会制民主主義の観点から考えると、議会は三つの課題を持っている。

- ①しっかりと曾於市と市民を守っていくこと。
- ②出てくる問題を一つひとつ、的確に解決していくこと。
- ③5年、10年、50年後、未来を創造していく役割が議会や行政にあり、そうした観点で物事を論じていかなければならない。アンケートは、率直な市民の意見ではあるが、この三つの役割は果たせないだろうと思う。

冷静に慎重に決めるということに関しては、アンケートというものは、少しそぐわない。やはり、重い決断をするときには、行政であり、議会である。

陳情第7号「市民のアンケートで、フラワーパーク公園建設の賛否を決める陳情書」については、市民のアンケートを求めるべきではなく、議員自らの責任と判断により解決すべきであり、陳情第7号は不採択とすべきである。

○第4回特別委員会

平成24年3月12日
市長からパークゴルフ場・フラワーパーク等整備事業に関する経緯と考え方についての説明。

問 特に環境問題に対する考え方については。

市長 公的機関による厳格な方法で環境調査をし、議会に示す。

問 特別委員会の決議を、市長は何処まで尊重するつもりか。

市長 議会は、市民から選ばれた議員で構成されており、議会制民主主義において、議会を中心として、首長は予算を提案し、議会に判断を仰ぐのは当然である。

・陳情第4号「仮称パークゴルフ・フラワーパークに関する陳情書」は、調査内容の協議の結果、継続審査と決定。
以上のとおりとなりました。



審議中の特別委員会

議会運営等調査特別委員会 (久長登良男委員長)

特別委員会は、平成24年3月26日に、第3回議会運営等調査特別委員会を開き、報告会実施に向けての会議を開催しました。

①会次第の再確認

②各班の協議

・班長等の役割分担の決定

・報告会の地区別の決定

③報告会の日時・場所の決定

平成24年5月25日(金) 19時より各町中央公民館にて開催

※ ④議会報告会における注意事項の協議

以上のことが決定されました。
※次ページに詳細あり

平成24年度 議会報告会開催!!

本年度より、議員が3班に分かれ市内3地区にて「議会報告会」を開催します。

市政の課題と議会の活動状況等を報告し、市民の皆様の声をお聞きしながら、今後の議会活動に活かしてまいります。多くの皆様の参加をお待ちしております。

☆内容・・・①議会からの議会報告・質疑応答 ②フリートーク

日時	会場	班構成
5月25日(金) 午後7時～ 午後8時30分	大隅中央公民館	1班 (大津亮二、迫 杉雄、土屋健一、漆間純明、今鶴治信、山下 諭)
	財部中央公民館	2班 (坂口幸夫、五位塚剛、山田義盛、九日克典、渡辺利治、大川内富男、大川原主税)
	末吉中央公民館	3班 (久長登良男、原田賢一郎、海野隆平、西川熊則、吉村幸治、徳峰一成、八木秋博)

春に想う



春爛漫 桜の花びらが舞う季節の到来、思い起こすと56年前は県道2号線より高い学校土手に桜の木が数本あったのを記憶している。花びらを踏みしめて正門を登って行くと左側に木造の長屋が一年生校舎で、正面に上級生の校舎鉄筋本館がありました。

財部小新校舎が完成し二年目の春が来しました。今年、48名の新生入生で全校生徒313名でのスタートとなりました。

勉強や運動に励み、校訓にあります「強く・正しく明るく」に向け頑張っ

て、曾於市を担っていく人間に成長されるよう期待しています。

(久長)

編集後記

暦年では、1月1日が新年度であるが会計年度や学校年度では、4月1日から新年度が始まる。この区切りは、明治時代からだという。外国をみてみると、会計年度はヨーロッパ・中国などは暦年と同じ1月から12月。アメリカは10月から9月。学校年度はアメリカ・中国が9月からで、おとなり韓国は3月からという。

今日、日本でも大学を中心に、秋入学が取り沙汰され入試試験や企業採用形態まで様変わりする可能性もありそうだ。新年度の始まりがどう変わろうと人の気持ちは、さほど変わるものではない。慣れない学校、慣れない職場、慣れない部署、この5月が危険な月と言われるゆえんであろう。

大波もいずれば治まる。皆乗り切ることを願いたい。

(八木)

私たちが作っています

いろんなご意見を
お聞かせ下さい。



議会広報等調査特別委員会

- 委員長 八木 秋博
- 副委員長 九日 克典
- 委員 今鶴 治信
- 〃 五位塚 剛
- 〃 久長登良男
- 〃 海野 隆平
- 発行責任者 〃
- 議長 谷口 義則